

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		上江洲由正	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.35	①簿記の演習用教材開発を行い、講義で活用する。 ②会計学の演習用教材開発を行い、講義で活用する。 ③卒業論文の指導を行い、論文を製本する。			0.35	①簿記の演習用教材を受講生の意見を取り入れながら作成し、講義で活用した。②会計学の演習用教材開発を受講生の意見を取り入れながら行い、講義で活用した。③卒業論文の指導を行い、論文を製本する(製本は2月27日の予定)。		
研究	0.20	①今年度新たに科研費を申請する。(基礎科学研究) ②『財務会計の基礎理論と展開』の改訂版を出版する。			0.20	①今年度新たに科研費を申請した。(基礎科学研究) ②『財務会計の基礎理論と展開』の改訂版を出版した。		
社会 貢献	0.15	①沖縄県企業局経営評価委員会委員長として経営評価を行う。 ②沖縄県生産性本部理事として予算・決算・活動計画を審議する。 ③沖縄国税事務所土地評価審議会の会長として土地評価を審議する。 ④税務大学校沖縄研修所での研修を指導する。			0.15	①沖縄県企業局経営評価委員会委員長として経営評価を行った。②沖縄県生産性本部理事としての諸審議は2回とも授業とちがひ参加できなかった。③沖縄国税事務所土地評価審議会の会長として土地評価を審議した。④税務大学校沖縄研修所での研修を指導した。		
管理 運営	0.00				0.00			
進路 指導	0.30	①大学院進学希望者の進路指導を行う。 ②ゼミ生の就職指導を行う。 ③会計専門職希望者の個別指導を行う。			0.30	①大学院進学希望者の進路指導を行った。横国、琉大の大学院へ各1名合格した。②ゼミ生の就職指導を行い、全員内定を得た。③会計専門職希望者の個別指導を行った。1名が税理士試験に科目合格した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		牛窪 潔	所 属		観光産業科学部 産業経営学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果
教育	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業発展論(英語による授業)のコンテンツ開発(オリエンテーション資料、講義用レジュメ、テキスト授業評価シートの改善) ○マネジメント論(実践論・応用論)の教材の見直しと改訂版の作成 ○中小企業経営論と経営学概論の教材の見直しと改訂版の作成 ○FDの実施(キャリア教育の改善施策) ○統計解析の実習用テキストの開発 ○大学院の授業のパワーポイント化 		0.50	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業発展論(英語による授業)にて使用するテキスト(英語版・日本語版それぞれ143頁)を、新たに作成した。H27年後学期から使用予定。 ○マネジメント論(実践論・応用論)の教材を見直し改訂版を作成した。H27年前学期から使用予定。 ○中小企業経営論と経営学概論の教材を見直し改訂版を作成した。H27年前学期から使用予定。○キャリア教育のFD資料を作成した。 ○統計解析の実習用テキスト(SPSS操作マニュアル)を作成した。H28年前学期から使用予定。 ○DruckerのThe Practice of Managementの各章のエッセンスをパワーポイント化した。
研究	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ○「学士力養成に係わる今後の大学教育の課題と展望」と題する調査・研究論文(基礎科学研究)の作成と紀要投稿 ○ドラッカー3大古典に関する文献研究と論文の作成 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ○「学士力養成に係わる今後の大学教育の課題と展望」と題する調査・研究論文(基礎科学研究)を完成させ紀要に投稿した。 ○ドラッカー3大古典に関する文献研究については、『現代の経営』と『経営者の条件』についてのサーベイは終了したが、『創造する経営者』については3月迄に終了する予定である。
社会貢献	0.40	<ul style="list-style-type: none"> ○サテライト・イブニング・カレッジの開講に向けた調査と準備 ○沖縄県生産性本部副会長としての任務遂行 		0.25	<ul style="list-style-type: none"> ○RSECのWGを中心に、平成27年度4月開講に向けた調査と準備に取り組んできた。2月中旬迄にホームページを立ち上げ、2月末迄にはパンフレットを配布できる段取りで推進している。 ○沖縄県生産性本部副会長としての任務を遂行した。
管理運営	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ○ORCC事業に関する委員会への出席 ○経営協議会への学内委員としての参加 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> ○ORCC事業に関する委員会への出席は志村学部長に代理出席していただいた。 ○経営協議会への学内委員として参加した。
進路指導	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ○指導教員として1年次学生(昼間主15名)に対する個別指導 		0.00	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26年度は国内研修期間のため、指導教員としての仕事は他の教員に一任した。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		志村 健一		所 属		観光産業科学部 産業経営学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.20	○学部担当科目、大学院担当科目の講義目標を達成すること ◎情報科学演習で改善した授業方法を実施し、見直しを行うこと				0.20	○それぞれ講義目標を達成することができた ◎前回課題となった参考文献の書き方について演習時間を増やすことで、理解が深まった				
研究	0.20	○学会発表を1件行うこと ○論文1件の投稿を行うこと テーマは「マーチの相互学習モデルにおける優秀グループについて」 (基礎科学研究)としたい				0.10	○2014年6月14日に第52回日本経営システム学会全国研究発表大会においてタイトル「マーチの相互学習モデルにおける優秀グループの基準」として発表を行った。 ○論文については、上記発表を論文として執筆中。管理業務を効率的に行い年度内に投稿したい。				
社会 貢献	0.05	○沖縄県産業祭りでの審査員として参加すること ○文献賞委員としての職責を果たすこと				0.05	○産業祭りは、先方の都合で取りやめとなる。 ○文献賞委員として選定に当たる ○沖縄県経済同友会で、サテライトキャンパス構想について講演を行う				
管理 運営	0.50	◎外部認証評価を受診し、教育体制の改善に活かすこと ○中期計画の実施と報告書を作成すること ○全学会議へ参加し、学部運営に活かすこと ○学部内会議を運営し、学部運営を効果的に実施すること ○学外会議に参加し、学部運営に活かすこと				0.60	◎外部認証評価を受診し、教育体制の改善計画を立てる。H27年度実施予定 ○中期計画の実施と報告書の作成を行うことができた。結果をマニュアルとする予定である。 ○全学会議へは一回欠席(推薦Ⅱの合否判定)した。他学部の様子は学部運営の参考とできた。 ○学部内入試委員会、教育委員会、それに自己評価委員会(メール会議)を開催し、課題解決並びに来年度への課題を確認する。 ○学外会議に参加し、学部運営に活かすこと				
進路 指導	0.05	○ゼミ学生への進路指導相談を行い、学生支援をすること ○2年次夜間主指導教員として個別面談を行い、学生支援をすること				0.05	○ゼミ発表などを通して、学生支援を行う。 ○2年次への個別指導を担当学生全員に実施し、学習状況、生活状況などの確認を行うことができた				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名前	與那原 建		所属	観光産業科学部 産業経営学科	
職名	教授				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定	業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ○経営戦略論・競争戦略論の講義資料の作成と受講生の評価をふまえた授業の改善、授業評価アンケートの実施 ○経営学演習Ⅰにおける研究指導(効果的なレジュメの作成およびプレゼンの方法、ゼミ論文のテーマ設定についての指導) ○経営学演習Ⅱにおけるゼミ論文の作成指導 ○大学院における講義提供と修士論文の作成指導 	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ○担当科目について新たな内容を盛り込んだ講義資料を作成し、受講生からの授業評価をふまえた授業の改善に取り組んだ(事例の追加、WebClassの活用)。授業評価アンケートも実施した(前・後学期)。 ○演習Ⅰにおける効果的なレジュメの作成およびプレゼンの方法、論文テーマの設定について指導を実施し、その結果、ゼミ学生の成長ぶりを実感することができた。 ○ゼミ論文の作成指導を行い(演習Ⅱ)、ゼミ生全員(10名)が論文を完成させた。 ○大学院において講義を提供(前・後学期)するとともに、担当している院生の論文作成指導を行い、3名の院生が学位論文(修士論文)を提出した。 	
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ○科研費基盤研究(C)の取り組み(事例研究) ○ダイナミック能力論にかかわる研究の深化(『経済研究』への投稿など) 	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ○科研費基盤研究(C)について研究代表者として研究会を開催し、そこで構築したフレームワークに基づく事例研究を報告した。研究成果は次年度公表予定である。 ○研究論文「ダイナミック能力と両利きのマネジメント」を『経済研究』(第89号)に投稿した。 	
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産業資源活用事業評価委員会・農工商等連携事業評価委員会(内閣府沖縄総合事務局)委員長としての貢献 ○沖縄県生産性本部理事としての貢献 	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産業資源活用事業評価委員会・農工商等連携事業評価委員会(内閣府沖縄総合事務局)委員長として委員会を開催し、申請のあった案件の審査を行い、基準を充足したものを認定した。 ○沖縄県生産性本部理事として理事会に出席した。 	
管理運営	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ○各種委員会委員としての貢献(①将来計画委員会、②予算委員会) 	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ○学部の将来計画委員として全学の組織見直し具体化タスクフォースに参加し、答申(案)の作成にかかわった。 ○学科の入試委員長として入試作業にかかわるとともに、学部の予算委員長としての担当業務を遂行した。 	
進路指導	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ○ゼミ所属学生に対する進路相談への対応と模擬面接の実施 ○ゼミ卒業生との交流会を通じた進路指導(進路意識の高揚) 	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ○ゼミ所属学生に対する進路相談への対応と模擬面接の実施により、ほぼ全員の進路が決定した(進路未定の1名は来年度公務員試験受験予定)。 ○ゼミ卒業生との交流会を開催し、現役ゼミ生の進路意識を高めることができた。交流会は今後も継続して実施したいと考えている。 	
	0.00		0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		井川浩輔		所 属		観光産業科学部 産業経営学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.20	専門科目「人的資源管理論応用」において、本年度は新たに、①「研修開発」に関連する教材を開発するとともに、②「オープン・キャンパスのマネジメント」を実際に経験できる実践的講義を実施し、理論と実践、教育と管理運営それぞれの融合を目指す。				0.20	①「研修開発」に関する教材を新たに開発し、②オープン・キャンパスをデザインして実施するという実践的な講義を行った。講義の受講生やインターンシップの参加高校生にアンケート調査を実施した結果、両者の満足が確認された。③沖縄県人材育成推進者養成講座に参加して実践的教材を新たに開発した。				
研究	0.30	①現在、人的資源管理に関する科研費を研究代表者として獲得しているが、本調査を実施し課題の探究に必要なデータを収集する。また、研究分担者分の科研費を新たに獲得するため、②海外の学会における最新の研究成果収集や、③予備調査に関連する論文の執筆を行う(1編)。				0.30	①研究代表者として獲得している科研費に関する本調査を実施して、人事担当者などからデータを収集した。②アメリカ経営学会に初めて参加し、科研費の獲得に関連する研究成果を集めた。③『琉球大学経済研究』に論文「マネジャーのマネジメント」を投稿した。④グローバル人材に関するインタビューを実施した。				
社会貢献	0.20	①昨年度までは管理職を対象とした人的資源管理に関する研修をボランティアで実施していたが、今年度は新たにその研修を管理職と新人それぞれを対象に実施する(計2回)。②人事担当者を対象とした勉強会をボランティアで開催して人的資源管理に関する情報を提供する(計5回)。				0.20	①従来から継続的に行っている管理職研修に加えて、人的資源管理に関する新人研修を本年度新たにデザインし実施した(計3回)。②人事担当者を対象とした勉強会を新たに企画・開催して、人的資源管理に関する授業をボランティアで行っている(現時点で計2回、現在継続中)。				
管理運営	0.10	①営利企業役員等兼業審査委員会委員(継続)として、②研究推進戦略に関する連絡会議委員(新規)として、③就職センター運営委員会委員(新規)として、それぞれの委員会に参加し、大学の管理運営に関する情報収集や情報発信を行う。				0.10	①営利企業役員等兼業審査委員会委員(継続)として、②研究推進戦略に関する連絡会議委員(新規)として、③就職センター運営委員会委員(新規)として、情報の収集や発信(『教育後援会便り』の原稿執筆など)を行った。④概算要求の書類作成に初めて携わった。				
進路指導	0.20	①「経営学演習」において、新たに5つの実践的なプロジェクトを用意し、受講生が必ずリーダーとフォロワーを経験する仕組みを通じて、就業力向上をサポートする。②ゼミ生の多様なキャリアに対応するため、授業時間外に1人1時間のキャリア面談を学期に1回(計2回×15名)実施する。				0.20	①「経営学演習」において、研究発表や企業への改善提案などに関するプロジェクトを5つ以上新たに立ち上げ実施して、受講生の就業力向上をサポートした。その結果、「産学連携ツーリズムセミナー」におけるアイデア・研究発表で最優秀賞を受賞することができた。②受講生のキャリア面談を30回程度実施した。				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		桑原 和典		所 属		観光産業科学部 産業経営学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.25	①学生の意見を反映させた講義の実施(実務レベルへの関心等) ②講義後の学生との意見交換(質問や要望等) ③FDの実施				0.25	①最新の事例(スイスフランショック等)を講義に織り込み、理論モデルへの関心を高めることができた。 ②講義終了後に、講義に対する理解の程度を聞くように心がけた。 ③学科主催のFDに参加した。				
研究	0.35	①基礎科学研究の推進 ②学内紀要への投稿(LCCの現状と将来展望:沖縄観光を事例にして) ③各学会(日本経営学会, 日本ファイナンス学会, 日本財務管理学会, アジア経営学会等)への参加および発表				0.35	①株式市場のデータを中心に株価情報を収集している。 ②学内紀要へ投稿「イベント情報としての株式分割」 ③日本財務管理学会にて発表「株式分割が時価総額に与える影響について」				
社会 貢献	0.10	①各企業(金融, メーカー等)に対するアカウンティングおよびファイナンスに関する企業研修を実施予定 ②公開講義の実施 ③公認会計士補修所にてファイナンス研修を実施予定				0.10	①大和証券, 日立製作所等にてアカウンティング研修を実施。 ②前期・後期にて公開講義を実施。 ③公認会計士補修所にてファイナンス研修を実施。				
管理 運営	0.10	①教育委員として, 学科・学部の学生に対して学習できる環境を促進 ②産業経営学科において, さまざまな入試の監督や作問を担当予定 ③学科会議への積極的参加や意見交換により会議を活性化				0.10	①各委員会に参加した。 ②推薦入試やセンター試験等の試験監督を実施。 ③教授会, 学科会議に参加した。				
進路 指導	0.20	①担当ゼミナールにおける学生への指導 ②日本経済新聞社主催の「日経ストックリーグ」への参加を通じた学生への指導 ③担当学年(3年生)との意見交換(メールや研究室等)				0.20	①ゼミ生に対して, 学業および就職活動について指導した。 ②ストックリーグに参加し, 今年も800チームの中から1チームが最終選考に残っている(昨年は3チーム, 私はノムラアワード受賞)。 ③担当学年はなく, 1年生を中心に指導を行った。				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		桑原 浩		所 属		観光産業科学部産業経営学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生指導教員として、学生とのe-mail, Webclassを活用したサポート体制の試行 ・科目「観光マーケティング論」、「観光事業論」の教材の改善 ・個人指導担当1年次生及びゼミ生の学習達成度に関する指導(全員GPA2.0以上) 				0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生指導教員として、学生とのe-mail, Webclassを活用したサポートを一部試行した。 ・科目「観光マーケティング論」、「観光事業論」の教材の改善を行った ・個人指導担当1年次生及びゼミ生の個人修学指導を行ったがGPA2.0以下の学生を解消するには至らなかった。 				
研究	0.40	研究の種類: 応用的研究、実践的研究 研究テーマ: 東南アジアにおける観光マネジメント、観光ルート開発に関する基礎的研究 <ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金に基づく研究「後発開発途上国ラオスにおけるプロプアツーリズムのための人的資源管理」を継続して展開し、成果の一部を国内外の学会合にて発表 ・科学研究費補助金(基盤C)の新規応募 				0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金に基づく研究プロジェクト「後発開発途上国ラオスにおけるプロプアツーリズムのための人的資源管理」については、当該分野をテーマとする国際会議4th International Conference on Tourism Research で論文発表を行い、Best Paper Awardを受賞した。また、論文本体は、査読を経てSHS Web of Conferences Vol. 12 (2014) にて公刊された。 ・前記の科研費補助を受けている研究を1年間延長する事情が発生したため、新たな科学研究費補助金(基盤C)の応募は行わなかった。 				
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」の公開授業の実施 ・JICA地域特別研修での講義担当 				0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・「観光マーケティング論」の公開授業を前期に実施した。 ・今年度はJICA地域特別研修が実施されなかったため、講義は行わなかった。 				
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・「全学附属図書館学術情報基盤資料選定委員会」への積極的参加 ・「全学情報システム運用委員会」への積極的参加 ・「全学動物実験委員会」への積極的参加 ・「総合情報処理センター専門委員会」への積極的参加 ・「図書紀要委員会」への積極的参加 				0.10	ほぼ定期的に開催された「全学附属図書館学術情報基盤資料選定委員会」、「図書紀要委員会」、「全学動物実験委員会」には忌引きを除いてすべて参加した。「全学情報システム運用委員会」、「総合情報センター専門委員会」は開催されなかった。				
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次及び4年次ゼミ学生への個別進路指導(各学期の開始時及び随時) 				0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次及び4年次ゼミ学生への個別進路指導を各学期の開始時とそれ以降に複数回実施した。 				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		多賀 寿史		所 属		観光産業科学部 産業経営学科		職 名			
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	今年度は、パワーポイントを用いない講義を試験的に導入する。そして、対話型の講義を行うことで、学習効果が高まる方法を模索する。E-learning教材の運営と教材開発を今年度も継続して行う。				0.30	PowerPointを活用した講義とwebclassを活用することで、e-learningを有効に活用した講義を推進できた。				
研究	0.30	今年度は、科研費基盤Cに申請し、予算の獲得できるように心がける。これまでの研究の成果を、6月と10月末の紀要で出せるように勢力する。多賀の研究の主要課題が「公正価値会計の理論・制度的意義を考える」である。この主要課題に迫るべく、論文作成を行う。可能であれば、学会報告を1回～2回、合わせて研究会報告も行いたいと考えている。				0.20	諸般の事情で科研の申請に間に合わなかったことは反省点である。学会報告は1つ申請予定(3月)である。10月末締め切り3月発行予定の紀要に1本掲載予定(現在校正段階)であるが、6月末締め切りの紀要に出せなかったことは反省点である。				
社会貢献	0.10	琉球大学での公開講座として、簿記原理1を開講する。沖縄国際大学で前期簿記原理1、後期会計学2に非常勤としていくことで、地域の教育に貢献する。				0.15	公開講座として簿記原理1を開講し1名受講した。沖縄国際大学の非常勤はしっかりと行った。				
管理運営	0.10	学生指導委員としての仕事を行う。その他、与えられた委員の仕事を滞りなく行う。				0.15	学生指導員委員としての仕事をしっかりと行った。				
進路指導	0.20	実践簿記(e-learning)教材を通じて就職に強いといわれる日商簿記検定2級の取得者を増やす。経営学演習1、経営学演習2において学生の進路指導を行う。				0.20	実践簿記(e-learning)を実施することで確実に就職に強いといわれる日商簿記2級合格者が増えている。今年度の経営学演習2就職は1人を除き決定した。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	野口 浩		所 属	観光産業科学部 産業経営学科		職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	①全ての講義において、質の高いものを提供できるように工夫する。 ②大学院2年生の修士論文を期限までに完成させるように指導する。 ③ゼミに外部の方を招き、学生の視野を広げる。		0.30	①全ての講義を双方向のものになるように心掛けた。修学旅行生向けの講義も高校生に興味を持ってもらうように工夫を凝らした。②大学院2年生の修士論文は完成し、最終試験も合格にたどり着いた。③EY税理士法人の方を招いてお話を頂いた。		
研究	0.45	①博士論文を図書にして、出版社から公刊する。 ②論文を2本公表する。そのうち、1本は、英語で書いた論文とする。 ③日本税法学会で4月に報告を行う。		0.45	①博士論文を図書にして、森山書店から出版することができた。このことは研究者としての大きな前進となった。②論文は1本を公刊し、もう1本の英語の論文は経済研究に投稿した(3月に公刊予定)。③日本税法学会で4月に報告を行った。		
社会貢献	0.05	①講義等を通して、国民の納税意識の向上に努める。		0.05	①講義等を通して、国民の納税意識の向上に努めた。		
管理運営	0.10	①大学院の経営管理領域主任としての仕事を全うする。 ②次年度の領域主任のために、仕事の引継ぎ書を残す。		0.10	①経営管理領域主任の仕事をこなした。②現在、同主任の仕事の引継ぎ書を作成中である。		
進路指導	0.10	①EY税理士法人との関係をこれまで以上に深め、学生の就職に結びつける。また、他の世界4大アカウンティング・ファームとの接点を持つ。 ②東京の有力企業の人事部との交流を保つ。		0.10	①EY税理士法人に3人の学生を就職させることができた。また、日本系最大の税理士法人である、辻・本郷税理士法人とパイプを築くことができた。②東京の有力企業の人事部との交流を保った。		
	0.00			0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		福井 眞司	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果		
教育	0.40	・会計基礎科目(簿記原理1、現代会計のしくみ、管理会計基礎など)の講義提供		0.50	・簿記原理1(必須)および現代会計のしくみ(共通科目)について講義提供を実施した。→学生(初学者)の実務的知識の不足を痛感し、理論の理解のためにも実務知識の充実のための具体的方策を追加検討中(次年度の課題)。		
研究	0.30	・所属学会(日本ベンチャー学会および日本会計研究学会等)への学会発表および学会誌投稿。研究テーマ:「日本(沖縄を含む)の金融およびベンチャー教育の導入効果の実態」		0.10	・所属学会への学会誌への投稿が延期(レフリー審査段階)されたため、次年度に訂正・変更・追加の上、再投稿の予定。		
社会貢献	0.10	・会計および金融教育の講義提供(出前講座などを含む)		0.00	・今年度は外部からとくに要請はなかった。→次年度は会計科目(金融教育を含む)の学外への積極的な講義提供を計画予定。		
管理運営	0.10	・各種 担当委員会での活動		0.20	・各種(全学・学部)担当委員会を問題なく実施。→次年度以降さらに継続担当。		
進路指導	0.10	・夜間主学生(3,4年次および卒業生を含む)への簿記指導および就		0.20	・夜間主学生を中心に簿記会計科目の指導を実施。→次年度は昼間・夜間両者でさらに簿記会計科目の指導強化。		
	0.00			0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		宮国薫子	所 属	観光産業科学部 産業経営学科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成26年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成26年度 年度末自己点検結果	
教育	0.20	・学科特色科目(観光情報論・まちづくり地域おこし論)とマーケティング概論(必修科目夜間)の講義を充実		0.20	まちづくり地域おこし論では、参考書の推薦などをして、学生がより深く調べてレポートをかけるよう。努力した。マーケティング概論でも、レポートの書き方を、見本を示して、詳しく説明し、書き方を指導した。	
研究	0.30	・学会発表および学会誌投稿。研究テーマ:「持続可能観光のための地域住民の観光に対する態度の研究:西表島の事例」「パラオ共和国における観光の現状と課題」		0.30	第69回情報経営学会の統一論大報告(11月8日)において「持続可能な観光のための実証研究:西表島のケース」について発表した。また、第81回21世紀フォーラム(1月26日)においてSATREPSの活動報告において「パラオの観光と現状:持続可能な観光への取り組み」について発表した。国際沖縄研究所主催コルシカ大学合同セミナー(1月31日)において「持続可能な観光の研究:観光の経済的なコストに対する意識と住民の環境意識:西表島のケース」について発表した。琉球大学紀要「経済研究」に「パラオ共和国における観光の現状と課題」を投稿中。	
社会貢献	0.20	・各種委員会(沖縄県指定管理制度委員・那覇市都市計画委員)や研究プロジェクト(SATREPS:地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム・サンゴ礁島嶼系における地球温暖化の危機とその対策・パラオ共和国)の職務遂行		0.20	・沖縄県指定管理制度委員会・沖縄県港湾審議委員会、那覇市都市計画委員会において審議委員として職務を遂行した。2013年から始まったJICA,JST協賛による5年間の研究プロジェクト(SATREPS:地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム・サンゴ礁島嶼系における地球温暖化の危機と対策・パラオ共和国)においてパラオの国際サンゴ礁研究所社会科学チームと会合やワークショップをもち、住民とのフォーカスグループミーティングやアンケート調査を(3回)行った。	
管理運営	0.10	・各種 担当委員会での活動(1年次指導教員・入試委員・ハラスメント相談室員)		0.15	1年次指導教員、ハラスメント相談員・ハラスメント調査委員、入試委員、広報委員として、職務を遂行している。	
進路指導	0.20	・ゼミ3、4年次の進路指導		0.15	2014年12月の観光研究学会(大阪)における4年次(4人)のポスタープレゼンテーションを指導し、発表に引率した。学生の卒論指導をしている。まだ就職の決まっていない学生に、様々な就職説明会の機会などを紹介している。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		